

2023. 4. 13

会員の皆様へ ご案内

第 5 回大逆事件サミット(神戸大会)

日時 2023 年 5 月 27 日(土) 午後 1 時

会場 兵庫県学校厚生会館(JR 元町駅近く)

神戸市中央区北長狭通4-7-34

内容 講演1 山泉進 大逆事件の真実

講演2 上山慧 神戸の大逆事件犠牲者 岡林寅松・小松丑治

全国交流会

28 日午前は岡林寅松・小松丑治の足跡を訪ねます。

参加費 1千円

主催 大逆事件の犠牲者たちの人権回復を求める全国連絡会議

大逆事件を明らかにする兵庫の会

問合せ 津野公男(兵庫の会)

090-2490-1879

kimioama@yahoo.co.jp

* 同封の秋水通信 34 号はサミット特集としています。
ふるってご参加ください。

幸徳秋水を顕彰する会 2023 年度総会

日時 2023 年 5 月 21 日(日)午後 1 時

会場 四万十市社会福祉センター研修室

四万十市右山五月町8-3

記念講演 午後 2 時から

講師 真宗大谷派僧侶・作家 日野範之(会員、黒潮町移住)

演題 高木顕妙師に学ぶ - 平等・平和・救済 -

* 年度が変わりましたので、2023年度会費「振替依頼書」を同封して
います。(先払をしてくださっている方には入れておりません)

大逆事件(1911年)では、多くの社会主義者や無政府主義者が明治天皇の暗殺を企てたとして検挙、処刑された。

26人が検挙され、2人が有期刑、24人に死刑が求刑された。審理は完全非公開、証人申請はすべて却下、わずか1か月の審理で、幸徳秋水や大石誠之助等12名が死刑、12名が「天皇の恩命」と称する特赦で無期懲役の判決が下されている。そして判決後1週間足らずして死刑が執行されている。

起訴から刑の執行に至る異常な速さのうちに、この事件の異常な背景が浮き彫りにされている。

いうまでもなく、いまでは、完全なフレームアップであったことが明らかになっている。

日清、日露の両戦争、韓国併合へとアジアでの覇権を拡大、軍国主義的強

非戦を唱える反軍国主義者は許せない弾圧の対象であった。おりしも、社会主

めとしてでっち上げられた側面もある。犠牲者を出している地域では、犠牲者たちの名誉回復を求める運動が進められ、四万十市や和歌山県新宮市では、市議会で顕彰決議や名誉市民決議が行われている。このような犠牲者を顕彰し、大逆事件の真実を明らかにする運動は各地で続けられ、隔年ごとに「大逆事件サミット」が開催されてきた。神戸では、岡林寅松、小松丑治が起訴され、死刑判決ののち減刑され無期懲役となった(ウラ面にコラム)。第5回大逆事件サミットの神戸開催を機に、一人でも多くの皆様に、非戦を貫き、そのために身をささげた人たちがいたことを知っていただけるなら幸いである。

5月27日(土)14時
兵庫県学校厚生会館

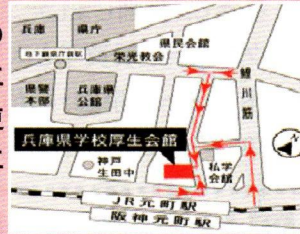
◆主催 大逆事件の真実をあきらかにする会 & 大逆事件を明らかにする兵庫の会

◆参加費 1,000円

(問) 657-0823 神戸市灘区天城通3-5-19

☎&FAX. 078-861-6566

e-mail. kimioama@yahoo.co.jp



講演①「大逆事件の真実」

山泉 進さん 大逆事件連絡会議事務局長/明治大学名誉教授 著書『平民社の時代 非戦の源流』など多数

講演②「神戸の大逆事件の犠牲者

岡林寅松・小松丑治」

上山 慧さん『神戸平民倶楽部と大逆事件』著者

各地からの活動報告と交流

第2日 フィールドワーク 小松はるの養鶏場跡 神戸多聞教会 夢野橋など

国路線を進める支配層にとって、批判勢力であった社会主義者や民主主義者、

義者たちに対して融和的だとして西園寺内閣を倒した桂内閣が誕生した。桂内閣が反動的政策への転換を鮮明にするために大逆事件は、いわば見せし

第5回 大逆事件 全国サミット in 神戸



丸木位里・俊 1989年「大逆事件」縦180cm横720cm 提供 原爆の図 丸木美術館/丸木ひさ子 蔵

大逆事件サミットの歴史

大逆事件サミット開催のアイデアは、長年にわたり再審請求の支援活動と幸徳秋水の顕彰活動に携わってきた故森岡邦廣さんや故北澤保さんたちとの話し合いのなかで生まれました。

そして2010年、四万十市に結成された「幸徳秋水刑死百年記念事業実行委員会」（委員長・田中全四万十市長）の活動として実現しました。

第一回の「大逆事件サミット」は幸徳秋水の故郷であり、再審請求に人生をかけた坂本清馬の居住の地でもあった高知県四万



十市において、2011年9月24日に開催されました。（採択された「中村宣言」は下段に）

第二回サミットは2014年10月12日、「大逆事件」の被告や遺家族の救済のために尽力した堺利彦の郷里、福岡県みやこ町で台風のなか挙行されました。「堺利彦・葉山嘉樹・鶴田知也の三人の偉業を顕彰する会」が中心になりフィールドワークも行われました。

「神戸の大逆事件」岡林寅松と小松丑治

神戸では、岡林寅松、小松丑治が起訴され、死刑判決の後減刑され無期懲役となった。2人は他の4人の無期懲役の仲間とともに長崎監獄（諫早）に移送され、1931年の仮出獄が認められるまで収監されている。岡林寅松、小松丑治等は週刊『平民新聞』の読者会である「神戸平民倶楽部」を組織し、社会主義についての研究や討議を目的（規約より）として活発に

第三回サミットは、2016年10月22日、大阪府北区天神西町の日本キリスト教団天満教会で開催され、140名の参加者がありました。「管野須賀子を顕彰し名誉回復を求める会」が企画しました。メイン企画のシンポジウム「管野須賀子と大逆事件」は、コーディネーター山泉進・明治大学教授のもと、3人からの報告、荒木伝（社会運動研究家）「明

運動を展開していたが、他の大逆事件犠牲者と同じく天皇暗殺の企てとは無縁であった。

残された家族にたいしても厳しい生活が強いられている。小松丑治の妻 はるは夢野（兵庫区）で養鶏場を営み生計を立てていた。彼女は毎日曜日には多聞教会に通っていたが、牧師今泉氏は夫の入獄後のはるを支え続けた。

中村宣言 ～2011年9月24日 第1回大逆事件サミット(四万十市)～

大逆事件は第二世紀を迎える。この時にあたり、私達は幸徳秋水の生誕地である四万十市中村に集い、全国各地において展開されてきた、犠牲者達の名誉回復と顕彰活動の成果を継承し、新しい世紀の人権回復の運動を築き上げていくことを確認したい。

そのための連絡組織として、本日ここに、「大逆事件の犠牲者達の人権回復を求める全国連絡会議」（以下、「連絡会」と表記す

る）を結成する。

大逆事件においては、26被告のみならず、その家族に対しても筆舌に尽くしがたい人権弾圧が行なわれた。それらの人々に対する人権回復を求めることは国民としての義務でもある。また、大逆事件は国家による犯罪であり、その年は韓国併合、アジア侵略の歴史と重なっていることを記憶に留めておく必要がある。

事件当時、日本国内においては、厳しい

報道管制が行なわれ、事件の真実は語られることなく闇の中に葬られた。しかし、国外においては、ニューヨークをはじめとして、ロンドン、パリ、ベルリン、ローマ等において、公正な裁判を求める声があげられ、思想弾圧に対する抗議運動が行なわれたことも忘れてはならない。

戦後、多くの人達により、大逆事件の解明がなされてきた。また、判決から50年を経て、再審請求の訴えもなされた。連絡会はこ

治期大阪の社会運動と管野須賀子」、井口智子（松原教会牧師）「クリスチャンとしての管野須賀子」、田中伸尚（ルポライター、元朝日記者）「飾らず、偽らず、欺かず」にもとづいておこなわれました。（田中氏のタイトルは近著『管野須賀子と伊藤野枝』からとったもの）

第四回サミットは2018年10月6日、和歌山県新宮市において、二河通夫会長のもとで大逆事件の犠牲者を顕彰する会が主催して250名ほどが集まりました。

夢野を訪ねた堺利彦

「神戸、夢野」という處書きが既に何かに物を思はせる力を持つて居る。…神戸の町はづれから六七町、或は十町ばかりもあつたらうか。夢野村で小松といふ庭雞を飼ふところ…東京へ歸つて後、やはり折々「夢野、春子」とした手紙や葉書が来た。…（『堺利彦全集』第4巻116頁「丸い顔」より）



れらの先人たちの営為に敬意を払うと同時に、いまだ不十分な人権回復が行なわれていない現状を打破していきたいと考えている。

人権弾圧のない世界を求めて、連絡会は国内各地における名誉回復と顕彰運動についての情報を共有し、協力関係を築いていきたい。

以上を宣言する。